

4 Apr.	5 May	6 Jun.
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
	1 2 3 4 5 6	1 2 3
2 ③ 4 5 6 7 8	7 ⑧ 9 10 11 12 13	4 ⑤ 6 7 8 9 10
9 10 11 12 13 14 15	14 ⑮ 16 17 18 19 20	11 ⑫ 13 14 15 16 17
16 ⑰ 18 19 20 21 22	21 ⑳ 23 24 25 26 27	18 ⑱ 20 21 22 23 24
23 ⑳ 25 26 27 28 29	28 ㉑ 30 31	25 ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖
30		

「明治150年 静岡県東の明治洋画」4月4日[火]ー6月25日[日]

7 Jul.	8 Aug.	9 Sep.
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
	1 2 3 4 5	1 2
② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧	6 ⑦ 8 9 10 11 12	③ ④ 5 6 7 8 9
⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ 14 15	13 14 15 16 17 18 19	10 ⑪ 12 13 14 15 16
16 17 ⑱ 19 20 21 22	20 ⑳ 21 22 23 24 25 26	17 18 ⑲ 20 21 22 23
23 ⑳ 25 26 27 28 29	27 ㉑ 29 30 31	24 ㉒ 26 27 28 29 30
30 ㉓		

「日本画入門!」7月14日[金]ー8月4日[金]

「新収蔵品展」7月14日[金]ー8月4日[金]

「白の表現力」7月14日[金]ー9月3日[日]

ロダン没後100年に寄せて1
9月5日[火]ー10月9日[月・祝]

10 Oct.	11 Nov.	12 Dec.
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
1 ② 3 4 5 6 7	1 2 3 4	1 2
8 9 ⑩ 11 12 13 14	5 ⑥ 7 8 9 10 11	③ ④ 5 6 7 8 9
15 ⑮ 17 18 19 20 21	12 ⑬ 14 15 16 17 18	10 ⑪ 12 13 14 15 16
22 ⑳ 24 25 26 27 28	19 ⑳ 21 22 23 24 25	17 ⑱ 19 20 21 22 23
29 ⑳ 31	26 ㉑ 28 29 30	24 ㉒ 26 27 28 ㉔ ㉕
		㉖

ロダン没後100年に寄せて2
10月11日[水]ー11月12日[日]

ロダン没後100年に寄せて3
11月14日[火]ー12月17日[日]

1 Jun.	2 Feb.	3 Mar.
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
① 2 3 4 5 6	1 2 3	1 2 3
7 8 ⑨ 10 11 12 13	4 ⑤ 6 7 8 9 10	④ ⑤ 6 7 8 9 10
14 ⑮ 16 17 18 19 20	11 12 ⑬ 14 15 16 17	11 ⑫ 13 14 15 16 17
21 ⑳ 23 24 25 26 27	18 ⑱ 20 21 22 23 24	18 ⑲ 20 21 22 23 24
28 ㉑ 30 31	25 ㉒ 27 28	25 ㉒ 26 27 28 ㉔ ㉕
		㉖

3月1日からロダン館のみ開館
(本館は工事休館)

「富士山と静岡ゆかりの画家たち」12月19日[火]ー2018年2月28日[水]



ガラスの天井から光がふりそそぐロダン館。近代フランスの彫刻家オーギュスト・ロダンの作品32点のほか、ロダン以前の代表的な作家による彫刻を展示しています。本館とロダン館をつなぐブリッジ・ギャラリーとともに、西洋の近代彫刻51点を常時鑑賞できます。

Exhibition Schedule 2017.4-2018.3

開館時間 10:00ー17:30(展示室への入室は17:00まで)

夜間開館 6月17日[土]、24日[土] 10:00ー20:00(展示室への入室は19:30まで)
8月19日[土]、26日[土] 10:00ー19:00(展示室への入室は18:30まで)

休館日 毎週月曜日(ただし月曜日が祝日・振替休日の場合は開館し、翌日休館)
年末年始、その他展示替等のための休館日

観覧料

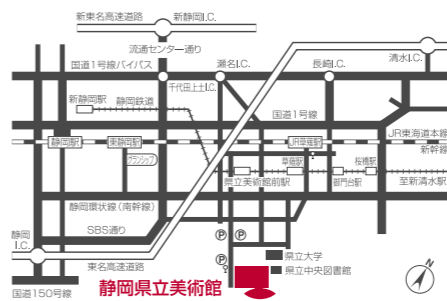
観覧料	展示会名	一般		70歳以上		高校・大学生	
		当日	前売・団体	当日	前売・団体	当日	前売・団体
単位/円							
	黄金のファラオと大ピラミッド展	1,400	1,200	700	600	700	600
	戦国!井伊直虎から直政へ	1,200	1,000	600	500	600	500
	美しき庭園画の世界	800	600	400	300	無料	無料
	アートのなぞなぞー高橋コレクション展	1,000	800	500	400	無料	無料
	収蔵品展	300	200(団体)			無料	

団体料金は20名以上。企画展ご入場の方は、収蔵品展・ロダン館も併せてご覧いただけます。
身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその付添者1名は、企画展・収蔵品展ともに無料でご覧いただけます。

- 実技室イベント** さまざまな体験プログラムを実施しています。スケジュールはホームページまたはパンフレット「体感空間」をご覧ください。
- 無料託児サービス** (3月を除く) 毎週日曜日および祝日にご利用いただけます(10:30ー15:30)。対象は、乳・幼児(6ヶ月~小学校就学前)です。
- 車椅子・ベビーカー** インフォメーションで無料貸出いたします。
- ミュージアムショップ** 展示会カタログ、美術図書、ミュージアムグッズ等をお求めになれます。
- レストラン&カフェ** 喫茶、お食事が楽しめます。美術鑑賞のあいまにお立ち寄りください。
- 友の会** 常時入会受付中。詳しくは事務局にお問い合わせください。Tel. 054-264-0897

交通案内

JR「草薙駅」県大・美術館口から静鉄バス「県立美術館行き」で約6分
JR「静岡駅」南口からタクシーで約20分または北口から静鉄バスで約30分
JR「東静岡駅」南口からタクシーで約15分または静鉄バスで約20分
静鉄「県立美術館前駅」から徒歩約15分または静鉄バスで約3分
東名高速道路・静岡IC、清水IC、または新東名高速道路・新静岡ICから車で約25分
周辺に大型バスを含めて約400台を収容できる無料駐車場があります。



お問い合わせ

〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2 <http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>
 総務課 Tel. 054-263-5755 Fax. 054-263-5767
 学芸課 Tel. 054-263-5857 Fax. 054-263-5742
 テレフォン・サービス(054-262-3737)にて展示会情報等をお知らせしております。



静岡県立美術館
Shizuoka Prefectural Museum of Art

国立カイロ博物館所蔵 黄金のファラオと大ピラミッド展

4月9日[日]—6月25日[日]



《アメンエムオベト王の黄金のマスク》
第3中間期 第21王朝、アメンエムオベト王の治世
(前993～984年頃) 国立カイロ博物館所蔵

はるか4,500年あまりも昔、栄華を誇ったエジプト古王国時代。クフ王、カフラー王、メンカウラー王ら3代のファラオによって、巨大なピラミッド群が建設されました。この展覧会は、彼らファラオやピラミッドの謎に迫ります。ご覧頂くのは、本場エジプトの国立カイロ博物館から、監修者吉村作治氏が厳選した作品約100点。ファラオや王家の女性、貴族、庶民の暮らしなど、ピラミッド建設に関わった人々のドラマをじっくりとご堪能ください。



《ロイとマヤのピラミディオン》
新王国時代、第18王朝末
(前1336～1295年頃) 国立カイロ博物館所蔵

「日本画入門！」+「新収藏品展」+「白の表現力」

7月14日[金]—8月4日[金](日本画入門!、新収藏品展) / 7月14日[金]—9月3日[日](白の表現力)

7月14日(金)から8月4日(金)まで、夏休み特別展示として、3つのテーマによる収藏品展を同時開催します。この期間に限り、全館300円でご覧いただくことができます。



円山応挙《木賊菟図》(部分)



吉仲太造《孤》

2017年NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」特別展 戦国！井伊直虎から直政へ

8月14日[月]—10月12日[木]



《青葉の笛》寺野六所神社所蔵



《井伊直虎関口氏経連署状》峰前神社所蔵
浜松市博物館保管
「直虎」の花押が入った現存唯一の書状、出品！

※会期中、展示替えがあります

遠江・井伊谷を領地とした井伊氏。戦国動乱の時代、今川、武田、織田などがしのぎを削るなか、存亡の危機に瀕した家を必死で守り抜き、のちの繁栄の礎を築いたのが、井伊直虎でした。本展では、その波瀾の生涯を軸に周辺の戦国大名の動向を探ると共に、直虎が養育した次代・直政が、いかにして「徳川四天王」となり、彦根藩井伊家の祖となったのか、貴重な武具や古文書などを通して浮き彫りにします。知られざる静岡の戦国史、遠江の国衆から「譜代筆頭」の大名へ到る、井伊氏の苦闘の道程をご覧ください。

美しき庭園画の世界——江戸絵画にみる現実の理想郷

10月21日[土]—12月10日[日]

様々な風景が描かれた江戸時代。なかでも、大名庭園、そして大邸宅の主人が情熱をかけて作った庭園は同時代の画家を魅了し、庭園が描かれた作品には、江戸時代の風景表現の魅力が凝縮しています。本展は、多彩な展開を遂げた江戸時代の庭園画を、関東と関西という地域の違いに注目してご紹介します。併せて、庭園画と関係の深い実景図も展示することで、江戸時代の美しき庭園画の世界をご堪能いただけます。

※会期中、展示替えがあります



池大雅《蘭亭曲水図屏風》(当館蔵)(重要文化財)



狩野常信ほか《六義園図》(郡山城史跡・柳沢文庫保存会)

アートのなぞなぞ——高橋コレクション展

12月23日[土・祝]—2018年2月28日[水]



会田誠《大山椒魚》
撮影・木奥恵三
©AIDA Makoto
Courtesy of Mizuma Art Gallery



加藤美佳《バンジーズ》
© Mika Kato
Courtesy of Tomio Koyama Gallery

日本屈指の現代美術コレクターとして知られる精神科医・高橋龍太郎氏が、日本の若手作家を中心に収集した作品をご覧ください。2000点以上におよぶコレクションのエッセンスを、謎解きのようなテーマにそって紹介します。加えて、1990年代以降の日本の現代アートと日本の古美術とは分かちがたく結びついている、との高橋氏の考えに導かれて、出品作品に共鳴する古美術を当館コレクションから選び、展示します。現代美術と古美術との組み合わせの妙をお楽しみください。



ジャック・カロ《大受難伝》より「最後の晩餐」(部分図) (「新収藏品展」に展示)



1 鹿子木孟郎(紀州勝浦)



4 曾宮一念《毛無連峯》



3-① オノデラユキ
("Muybridge's Twist" No.3) (個人蔵)
©Yuki Onodera



3-② 安齋重男《ロダン「地獄の門」
30枚組ディテール》より
©ANZAI



3-③ コンスタンティン・ブランクーシ
《ボガニー嬢I》
©Succession Brancusi -
All rights reserved (Adagp) 2017
C 1299

1. 「明治150年 静岡県美の明治洋画」

4月4日[火]—6月25日[日]

2. 「白の表現力」

7月14日[金]—9月3日[日]

3. 「シリーズ『ロダン没後100年に寄せて』」

① 「動き」を求めて：
マイブリッジ、ロダン、オノデラユキ

9月5日[火]—10月9日[月・祝]

② フォーカス! 《地獄の門》:ロダンの彫刻写真
(ファクシミリ)、安齋重男による《地獄の門》

10月11日[水]—11月12日[日]

③ 彫刻を撮る:ロダン、ブランクーシの彫刻写真

11月14日[火]—12月17日[日]

4. 「富士山と静岡ゆかりの画家たち」

12月19日[火]—2018年2月28日[水]

静岡県立美術館の収藏品を中心とする展覧会を、次の会場でご覧いただけます。

三島市郷土資料館

9月15日[金]—10月15日[日]

富士山かぐや姫ミュージアム
(富士市立博物館)

11月3日[金・祝]—12月3日[日]